



ARIS CONNECT DESIGNER

クイック スタート マニュアル

バージョン 10.0 - SERVICE RELEASE 12
2020 年 4 月

This document applies to ARIS Version 10.0 and to all subsequent releases.

Specifications contained herein are subject to change and these changes will be reported in subsequent release notes or new editions.

Copyright © 2010 - 2020 [Software AG](#), Darmstadt, Germany and/or Software AG USA Inc., Reston, VA, USA, and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors.

The name Software AG and all Software AG product names are either trademarks or registered trademarks of Software AG and/or Software AG USA Inc. and/or its subsidiaries and/or its affiliates and/or their licensors. Other company and product names mentioned herein may be trademarks of their respective owners.

Detailed information on trademarks and patents owned by Software AG and/or its subsidiaries is located at <http://softwareag.com/licenses>.

Use of this software is subject to adherence to Software AG's licensing conditions and terms. These terms are part of the product documentation, located at <http://softwareag.com/licenses> and/or in the root installation directory of the licensed product(s).

This software may include portions of third-party products. For third-party copyright notices, license terms, additional rights or restrictions, please refer to "License Texts, Copyright Notices and Disclaimers of Third Party Products". For certain specific third-party license restrictions, please refer to section E of the Legal Notices available under "License Terms and Conditions for Use of Software AG Products / Copyright and Trademark Notices of Software AG Products".

These documents are part of the product documentation, located at <http://softwareag.com/licenses> and/or in the root installation directory of the licensed product(s).

目次

目次I

1	テキストの表記規則	1
2	はじめる前に	2
3	必要条件	3
4	ARIS Connect を起動する	4
5	モデルの作成および設定	5
5.1	モデルの作成	5
5.2	グリッドの非表示	6
5.3	デフォルト距離の設定	7
5.4	モデル	8
5.4.1	基本制御フロー モデルの作成	9
5.4.2	作業ステップを組織ユニットに割り当てる	11
5.4.3	不足しているオブジェクトの挿入	14
5.4.4	オブジェクト オカレンスの作成	15
5.4.5	サポート システムの割り当て	17
5.4.6	[スマート モデリング] ツールバーの設定	19
5.4.7	オブジェクトの名前変更	20
5.4.8	属性の配置	21
5.5	モデルを開いて、閉じます。	23
5.6	モデルを閉じる	23
6	モデルの出力	24
7	法的情報	27
7.1	ドキュメンテーションの範囲	27
7.2	データ保護	28
7.3	制限事項	28

1 テキストの表記規則

メニュー項目やインターフェイス アイテムは次のように表記されます。

- メニューおよびメニュー項目は角括弧 ([]) で囲んで表記します。`[SEP]`キー名は、山型括弧 (< >) で囲んで表記します。`[SEP]`ファイル名は小文字で表記します。
- ユーザー定義エントリは、テキストを < > で囲んで表記します。
- 例のテキストのように、長いディレクトリ パスなどは 1 行には長すぎるため、行の末尾にある ↵ を使用して次の行に送られます。
- ファイルからの抜粋はこのフォントで表示されます。

This paragraph contains a file extract.

- 警告には背景色が付きます。

警告

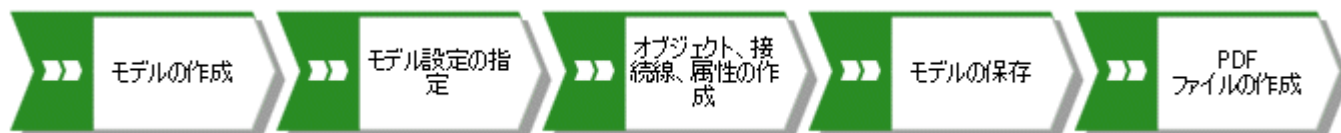
この段落には、警告が含まれます。

2 はじめる前に

この『クイック スタート マニュアル』では、ARIS Connect Designer の最も重要な機能を説明します。簡単な例を使用して、モデルの作成、およびモデルの内容の評価のための重要なワークフローについて学習します。

必要な設定を行ったあと、EPC タイプのモデルを作成して、レポートで評価します。

ARIS Connect Designer での作業は、以下の段階に分類されます。



『クイック スタート マニュアル』では、必要なワークフローの手順を段階的に説明しています。

ARIS Connect Designer での作業に関して質問がある場合は、[ARIS Connect] タブをアクティブにして、自分のユーザー名をクリックしてから、[ヘルプ] をクリックして、オンライン ヘルプの [モデル] 領域を参照してください。

このマニュアルで使用されているスクリーンショットがお使いのプログラム インターフェイスとは異なる場合があります。使用しているシステムがカスタマイズされている場合や、ライセンスによって ARIS Connect で提供される機能が異なる場合があります。

3 必要条件

以下の事項が想定されています。

- ARIS Connect Designer ライセンスとシステムで必要な権限を持つユーザーとして作成されていること。
- サンプル モデルを作成するデータベース グループの読取、書込、および削除のデータベース権限を持っていること。
- ARIS Connect のアクセス データがあること。つまり、ユーザー名、パスワード、ARIS Connect の開始ページへのリンクが利用できること。リンクは、システム管理者から提供されているはずです。

不確かな場合は、システム管理者に問い合わせてください。

4 ARIS Connect を起動する

本書の説明は、ARIS Connect で作業するための必要条件 『3ページ』が満たされていることが前提です。

手順

1. ARIS Connect へのリンクをクリックするか、ブラウザのアドレス バーに入力します。ARIS Connect 開始ページが開きます。
2. ユーザー名とパスワードを入力します。
3. [ログオン] をクリックします。

ARIS Connect が開きます。

5 モデルの作成および設定




以下のページでは、最初のモデルの作成方法とモデル用の設定方法を説明します。



5.1 モデルの作成

次の手順に従って、[顧客獲得] EPC を作成します。

手順

1.  [リポジトリ] をクリックします。
2. 使用できるデータベースを表示するには、左側の  [データベース] の ▶ 矢印をクリックします。
3. 新規モデルを作成するデータベースの ▶ 矢印をクリックします。
4. モデルを保存するグループまで、グループの ▶ 矢印をクリックして移動します。
5. グループ名を選択します。▼ 下矢印が右側に表示されます。
6. ▼ 下矢印をクリックして、 [モデルの作成] をクリックします。[モデルの作成] ダイアログ ボックスが開きます。
7. モデル名に「顧客獲得」を入力します。
8. キーボードの <Tab> キーを押します。カーソルが [モデル タイプ] ボックスに移動します。
9. 「ep」と入力します。名前に ep が含まれるすべてのモデル タイプの一覧が表示されます。
10. [EPC] をクリックします。
11. [OK] をクリックします。

[モデルの作成] ダイアログ ボックスが閉じ、新しいタブに新規作成されたモデルが開きます。ARIS Connect Designer の機能が使用できます。

5.2 グリッドの非表示

モデル作成でガイド付きモデリングとスマート モデリングを使用する場合、通常、グリッドは必要ありません。

ガイド付きモデリングを使用すると、オブジェクトや接続線を配置または移動する際に、基準となる線および矢印、アイテムとその隣にあるアイテムとの距離が表示されます。


スマート モデリングには、新しいオブジェクト用のスペースの作成、オブジェクトの配置、接続線の再接続などの自動モデリング機能があります。

そのため、グリッドをオフにします。

手順


1. [モデル] タブ バーをアクティブにします。




2.  モデリング領域の [グリッドを使う] をクリックします。 チェック ボックスがオフになります。

グリッドが表示されなくなります。

5.3 デフォルト距離の設定

スマート モデリングでは、オブジェクトは指定した間隔で自動的に配置されます。さらにガイド付きモデリングでは、オブジェクトを移動させると、特別なカーソル () でデフォルト距離が表示されます。スマート モデリングとガイド付きモデリングはデフォルトで有効化されています。

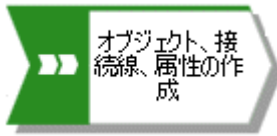
手順

1. アクティブにした [モデル] タブ バーで  [レイアウト] をクリックします。レイアウト オプションが提供されます。
2. [アイテム間の左右の間隔] に「20」を、[アイテム間の上下の間隔] に「10」を入力します。
3. [OK] をクリックします。

スマート モデリングを使用してモデルを作成すると、オブジェクトは設定された距離で配置されます。

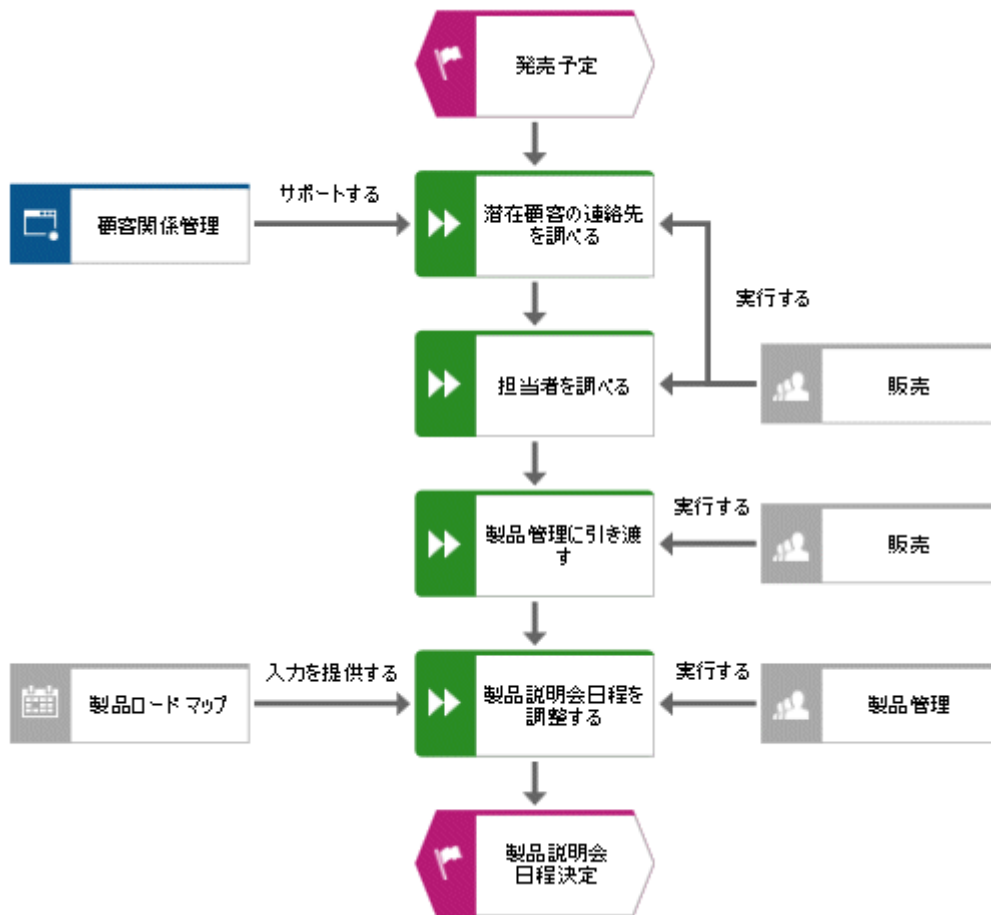
5.4 モデル

次のセクションでは、モデルにオブジェクトを配置し、オブジェクトの属性を編集します。



注意：オブジェクトを含むデータベースでモデルを作成して、オブジェクト名を入力すると、入力した文字で始まる名前があれば、名前の候補が表示されます。候補を無視します。


完了後のモデルは次のようになります。



5.4.1 基本制御フロー モデルの作成

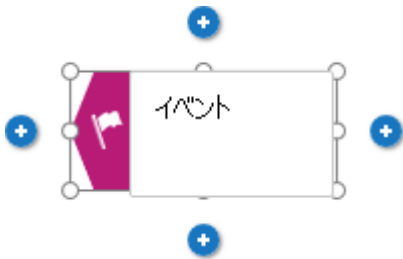
このセクションでは、必要な作業ステップが正しい順序で含まれる基本制御フロー モデルを作成します。

手順

1. [シンボル] バーで  [イベント] シンボルをクリックし、マウス ボタンを押したままにします。イベントに、特定の状態が発生したことが表示されます。
2. マウス ポインターをモデリング領域のオブジェクトを配置する位置までドラッグします。



3. マウス ボタンを放します。オブジェクトが配置され、名前が上書き入力の対象として選択されます。




4. 選択されている部分を、イベント名「発売予定」で上書きし、<Enter> キーを押します。

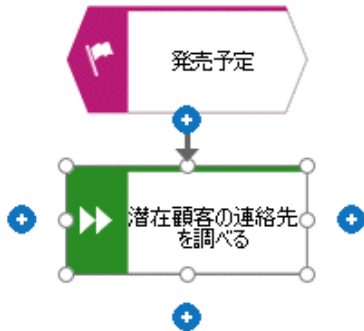


5. [発売予定] の下の  [下に挿入] をクリックします。






6.  [ファンクション] をクリックします。ファンクションがイベントへのデフォルト距離に配置されます。名前が上書き入力の対象として選択されます。

7. ファンクションはアクティビティが実行されなければならないことを示すため、「潜在顧客の連絡先を調べる」と入力し、<Enter> キーを押します。



8. 同じ方法で、次のオブジェクトを 1 つずつ下に作成します。

- a.  ファンクション: 担当者を調べる
- b.  ファンクション: 製品説明会日程を調整する
- c.  イベント: 製品説明会日程決定


必要な作業ステップが正しい順序で含まれる基本制御フロー モデルが完成します。



5.4.2 作業ステップを組織ユニットに割り当てる

このセクションでは、作業ステップ（ファンクション）を、ファンクションを実行する組織ユニットに割り当てます。

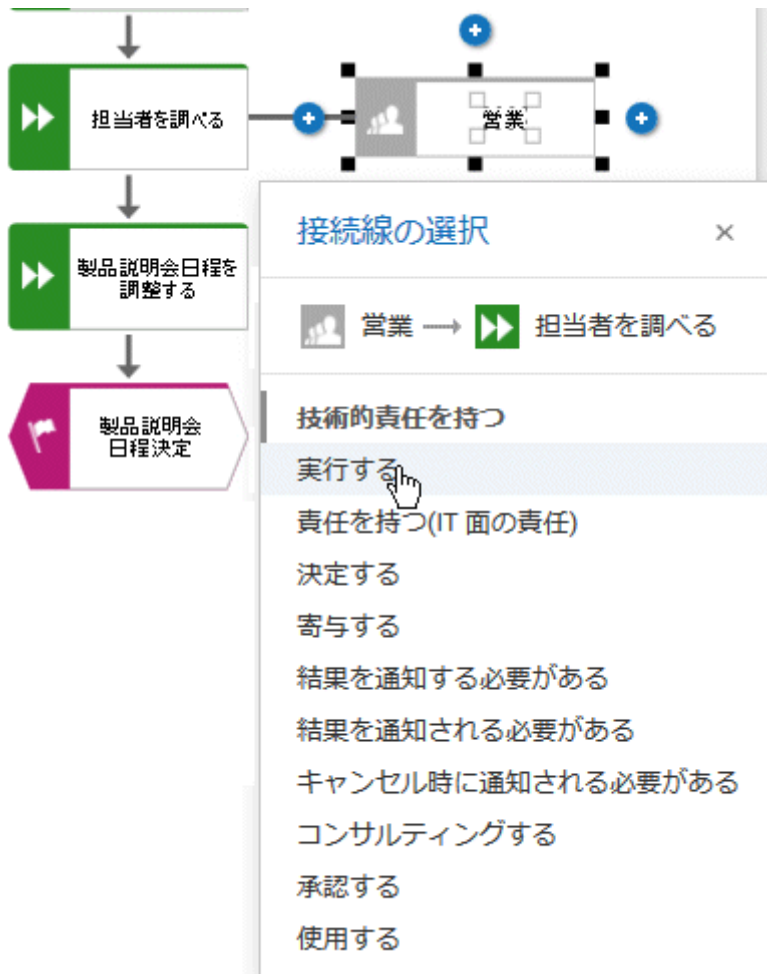
手順

1. [担当者を調べる] ファンクションをクリックしてから、 [右に挿入] をクリックします。
2. [組織ユニット] をクリックします。



作業手順（ファンクション）と組織ユニットを接続するためにさまざまな接続線が使用できます。

3. 「営業」という名前を入力して、[実行する] をクリックします。



組織ユニットが配置されます。



[担当者を探す] 作業ステップだけではなく、[潜在顧客の連絡先を調べる] 作業ステップも、[営業] 組織ユニットによって実行されます。そのため、[営業] と [潜在顧客の連絡先を調べる] を接続します。

4. [営業] 組織ユニットをクリックしてから [左に挿入] をクリックし、マウスを押した状態にします。
5. マウス ポインターを [潜在顧客の連絡先を調べる] ファンクションの枠線に移動します。マウス ポインターの移動中は、ガイド付きモデリングの線が、オブジェクトの横の中心に接続線を接続するための手助けとなります。



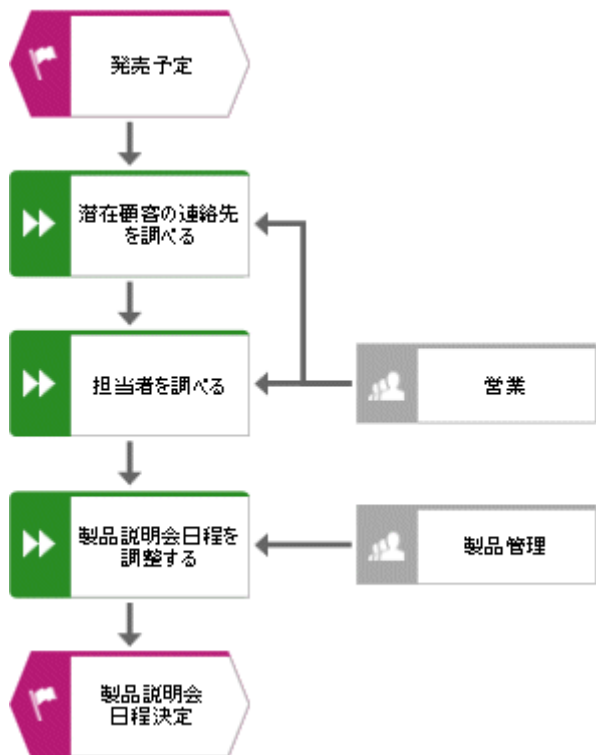
6. 接続線のアンカー ポイントが表示されたらマウス ボタンを放します。



接続線の選択が表示されます。

7. [実行する] をクリックします。

8. [担当者を調べる] ファンクションを [営業] に割り当てたのと同様の方法で、[製品説明会日程を調整する] ファンクションを [製品管理] 組織ユニットに割り当てます。[実行する] 接続線がすでに選択されているので、モデル作成領域内をクリックして完了します。ここまでの作業により、モデルは次のように表示されます。



作業ステップを組織ユニットに割り当てました。

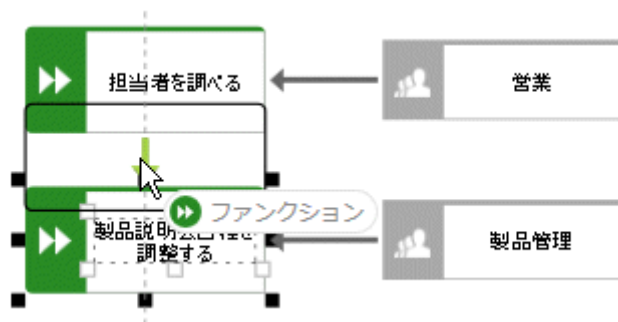
5.4.3 不足しているオブジェクトの挿入

このセクションでは、ドラッグ アンド ドロップを使用して不足しているオブジェクトを挿入します。

[製品管理] オブジェクトを挿入したところ、組織ユニット間の引き継ぎがモデル化されていないことに気がきました。ここで、これを行います。

手順

1. [シンボル] バーで [ファンクション] シンボルをクリックし、マウス ボタンを押したままにします。
2. マウス ポインターを、[担当者を調べる] ファンクションと [製品説明会日程を調整する] ファンクションの間の接続線の上に移動します。この接続線の色は緑です。





3. マウス ボタンを放します。1 つの手順でオブジェクトが配置され、[担当者を調べる] ファンクションと [製品説明会日程を調整する] ファンクションの間の接続線が削除されて、新しいオブジェクトから [担当者を調べる] ファンクションと [製品説明会日程を調整する] ファンクションへの接続線が作成されます。
4. 「製品管理に引き渡す」と入力して、<Enter> キーを押します。
不足しているオブジェクトが挿入されます。

5.4.4 オブジェクト オカレンスの作成

当然ながら、[営業] 組織ユニットは [製品管理に引き渡す] ステップも担当します。モデルの構造をわかりやすくするために、[製品管理に引き渡す] ファンクションのそばに [営業] オブジェクトのオカレンスを作成します。オブジェクトのオカレンスは、1 つまたは複数のモデルで同じオブジェクトを表す、オブジェクト シンボルのコピーです。作成した [営業] オブジェクトのオカレンスは、それぞれこのモデルに既に作成したオブジェクトを表します。オカレンスの属性、たとえば、名前を変更すると、そのオブジェクトのすべてのオカレンスの名前が変わります。

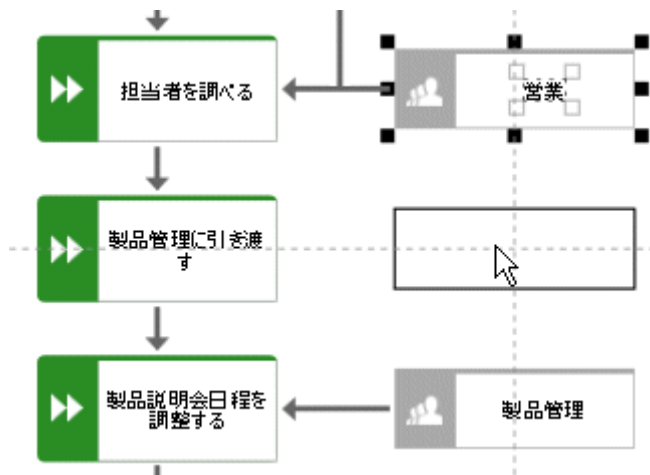
手順


1. [営業] オブジェクトを選択し、[モデル] タブ バーの  [コピー] をクリックします。
2.  [貼り付け] の ▼ 下矢印をクリックして、[オカレンス コピー] を選択します。




オブジェクトのプレビュー フレームがモデリング領域に表示されます。

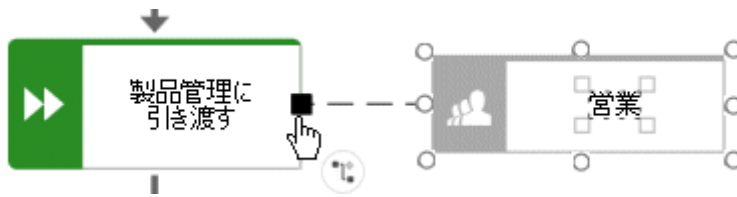
3. [製品管理に引き渡す] ファンクションのそばにマウス ポインターを移動します。ほかのオブジェクトから移動したオブジェクトの距離と方向を線で示します。
4. この位置をクリックします。



[営業] オカレンス コピーが配置、選択されると、 [挿入] アイコンが表示されます。

5.  [左に挿入] をクリックして、マウス ボタンを押したままにします。

6. マウス ポインターを [製品管理に引き渡す] ファンクションの枠線に移動して、接続線アンカー ポイントが表示されたらマウス ボタンを放します。



接続線の選択が表示されます。


7. [実行する] をクリックします。

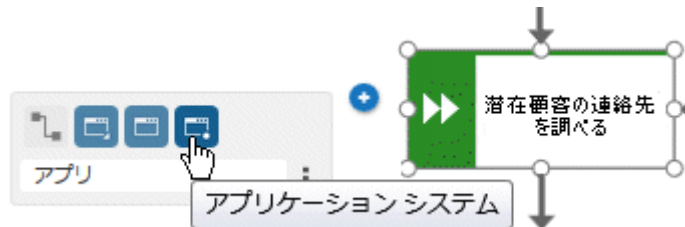
オカレンス コピーが作成され、作業ステップと接続されます。


5.4.5 サポート システムの割り当て

このセクションでは、作業ステップをサポートするシステムを割り当てます。

手順

1. [潜在顧客の連絡先を調べる] ファンクションをクリックしてから、 [左に挿入] をクリックします。
2. アプリケーション システムは [スマート モデリング] ツールバーに表示されていないため、[シンボルの検索] ボックスに「アプリ」と入力します。[アプリケーション] のオブジェクト シンボルが表示されます。

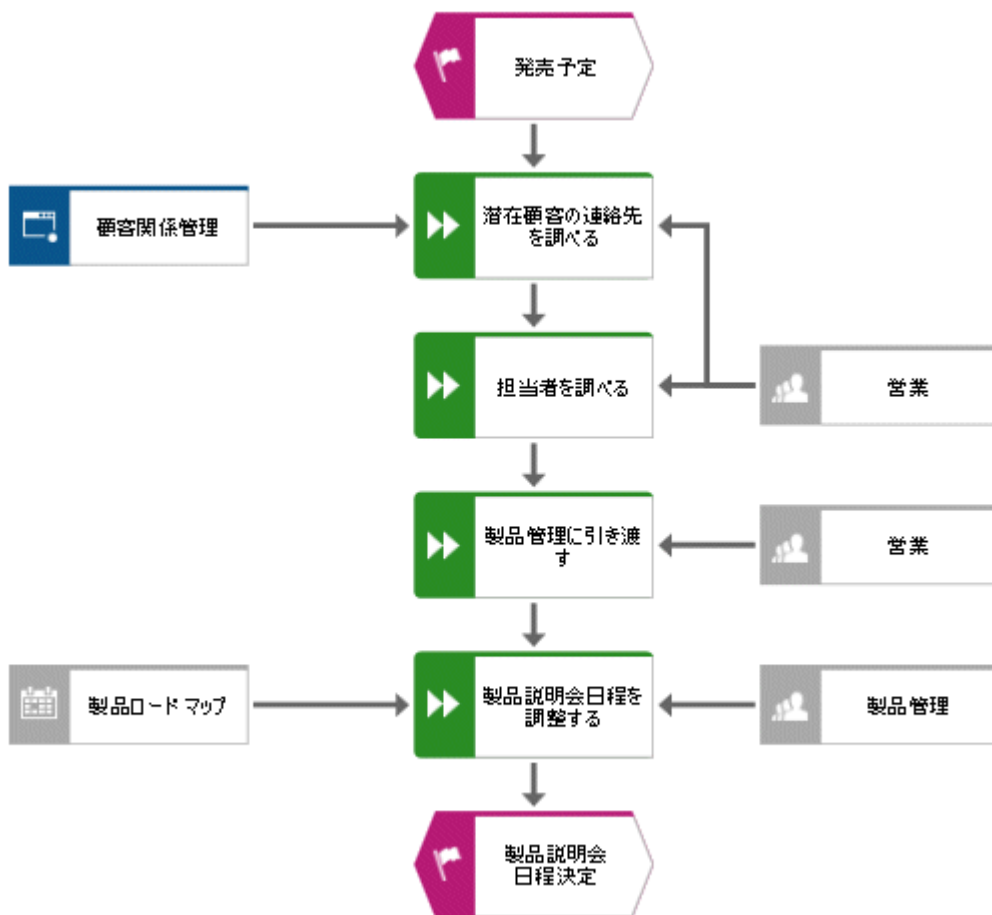


3. [アプリケーション システム] をクリックします。アプリケーション システムが配置されます。
4. 名前に「顧客関係システム」と入力します。サポート システムが配置されます。
5. [製品説明会日程を調整する] ファンクションをクリックしてから、 [左に挿入] をクリックします。
6. 予定表は [スマート モデリング] ツールバーに表示されていないため、[シンボルの検索] ボックスに「予定」と入力します。[予定表] オブジェクト シンボルが表示されます。



7. [予定表] をクリックします。
8. 名前に「製品ロード マップ」を入力して、[入力を提供する] 接続線をクリックします。

サポートするシステムが割り当てられます。モデルは次のようになります。




[スマート モデリング] ツールバーの [シンボルの検索] ボックスを使用して配置したオブジェクト シンボルは、対応するオブジェクトの [スマート モデリング] ツールバーに自動的に追加されます。そのため、[アプリケーション システム] および [予定表] のオブジェクト シンボルが、[ファンクション] タイプのオブジェクトの [スマート モデリング] ツールバーで利用できるようになります。





[スマート モデリング] ツールバーを設定 『19ページ』できます。

5.4.6 [スマート モデリング] ツールバーの設定


このセクションでは、ニーズに合わせてスマート モデリング] ツールバーのカスタマイズ方法について取り扱います。次の手順では、モデルには変更は加えられず、ファンクションの [スマート モデリング] ツールバーが提供するオブジェクト シンボルの数のみに変更が加えられるため、任意のファンクション オブジェクトの任意の  [挿入] ボタンをクリックできます。

手順

1. ファンクションをクリックして、任意の  [挿入] ボタンをクリックしてください。
2.  [設定]、[シンボルをツールバーから削除] の順にクリックします。




使用できるオブジェクト シンボルに [削除] アイコンが付きます。

3. 削除するオブジェクト シンボルをクリックします。アイコンがグレーになり、 [削除] アイコンは強調表示されます。



選択したオブジェクト シンボルを削除に含めない場合は、オブジェクト シンボルを再びクリックします。

4. [完了] をクリックします。

選択したオブジェクト シンボルが [スマート モデリング] ツールバーから削除されます。[ファンクション] タイプのオブジェクトの  [挿入] ボタンをクリックすると、次のオブジェクト シンボルが提供されます。



5.4.7 オブジェクトの名前変更

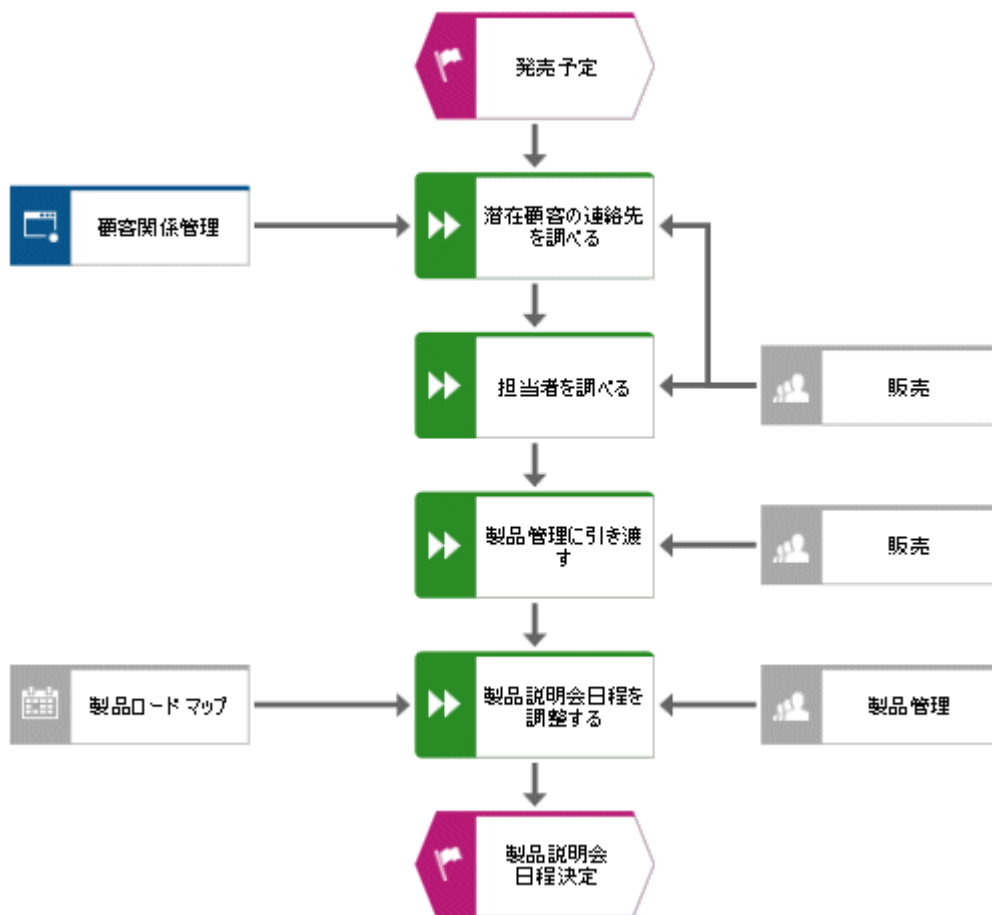
オブジェクトの名前は、モデル内で直接変更できます。名前を変更すると、データベース内のオブジェクトのオカレンス『15ページ』すべてに、新しい名前が適用されます。

次では、[営業] 組織ユニットの名前を変更します。

手順

1. [営業] オブジェクトを選択し、シンボルの名前をもう一度クリックします。名前が選択され、上書きできるようになります。
2. 「販売」を入力して、モデル作成領域をクリックします。


組織ユニットの名前が「販売」となり、このオブジェクトのほかのオカレンスも新しい名前が表示されます。

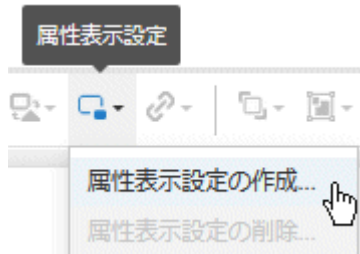


5.4.8 属性の配置

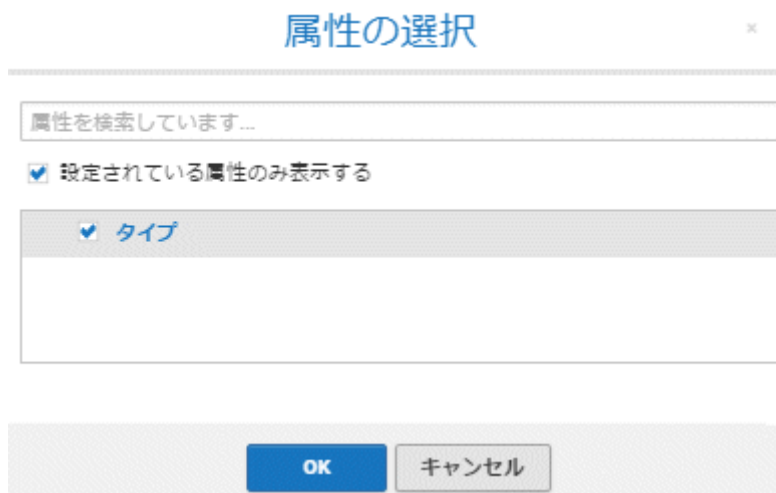
オブジェクトと接続線の属性をモデル内に表示できます。ここでは、接続線タイプを表示するように設定します。

手順

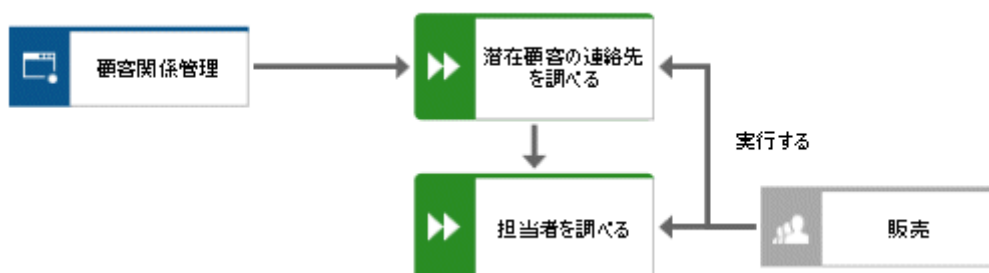
1. [販売] と [潜在顧客の連絡先を調べる] の間の接続線を選択します。
2. [開始] タブ バーで  [属性表示設定] をクリックします。
3. [属性表示設定の作成] をクリックします。



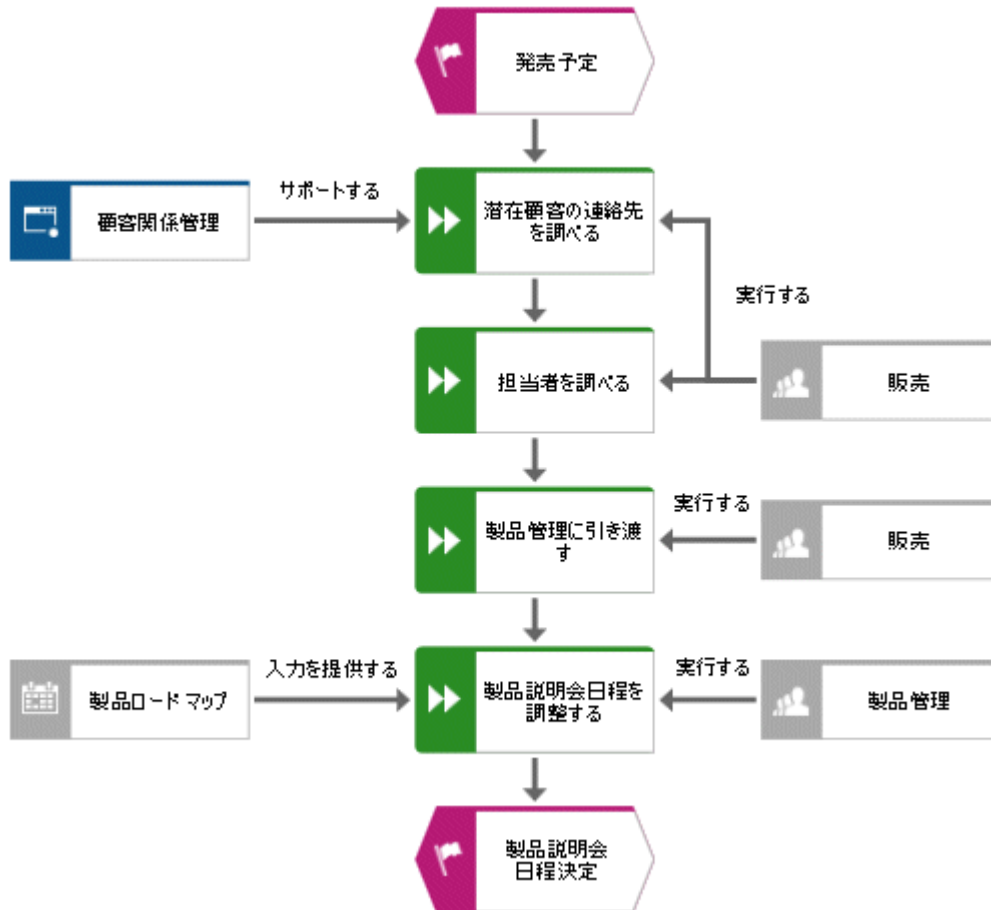
[属性の選択] ダイアログ ボックスが開きます。[設定されている属性のみ表示する] チェック ボックスをオンにし、[タイプ] を有効にします。



4. [OK] をクリックします。ダイアログ ボックスが閉じて、配置される属性のプレビュー フレームがマウス ポインターに表示されます。
5. 選択されている接続線に属性をドラッグし、配置する位置でクリックします。属性がモデリング領域に表示されます。




6. [顧客関係管理] オブジェクトをクリックし、<Ctrl> キーを押して、[製品ロード マップ] をクリックします。<Ctrl> キーを放し、選択したオブジェクトを左へドラッグします。これにより、モデルのレイアウトが確実に保たれ、[製品ロード マップ] と [製品説明会日程を調整する] の間に [入力を提供する] 接続線の [タイプ] 属性を配置する十分なスペースが作られます。
7. 同様に、すべてのファンクションと組織ユニットおよびサポートするシステム間の接続線の属性を配置します。
モデル作成が完成しました。ここまでの作業により、モデルは次のように表示されます。



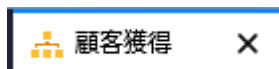
5.5 モデルを開いて、閉じます。

モデルが完成しました。

1. 作業を保存するには、[開始] タブ バーで  [保存] をクリックします。
モデルが保存され、結果が表示されます。



2. モデル タブで  [閉じる] をクリックします。




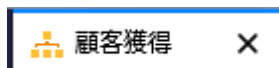
[モデル] タブが閉じます。

5.6 モデルを閉じる


モデルが完成しました。モデルを閉じることができます。

手順

1. モデル タブで  [閉じる] をクリックします。



モデルが未保存の場合は、[情報] ダイアログ ボックスが開きます。ブラウザによって、ダイアログ ボックスを閉じて保存するためにタブに戻るボタンは異なります。

2. たとえば [ページにとどまる] をクリックし、モデルを保存します 『23ページ』。
3. [モデル] タブで  [閉じる] をもう一度クリックします。

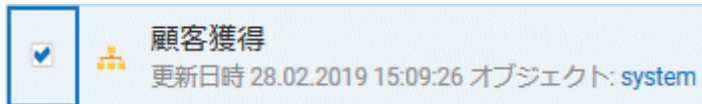
[モデル] タブが閉じます。

6 モデルの出力

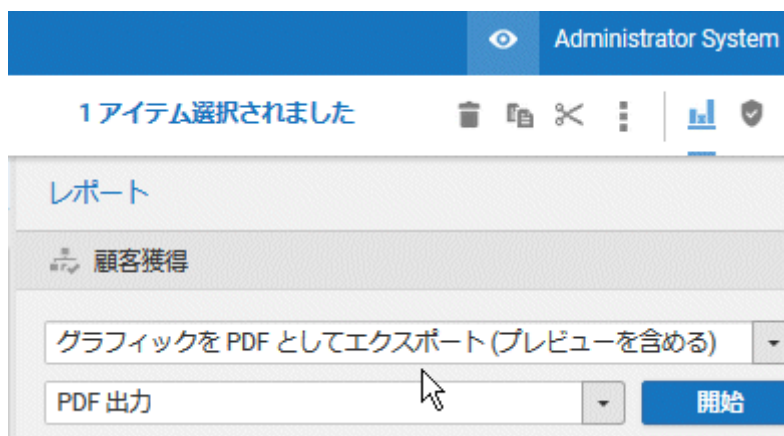
モデルの PDF ファイルを作成できます。

手順

1. [モデル] タブが閉じたあと、[ARIS Connect] タブがまだアクティブになっていない場合は、アクティブにします。
2. [顧客獲得] モデルのチェックボックスをオンにします。



3. [レポート] をクリックします。[レポート] バーが開きます。
4. [グラフィックを PDF としてエクスポート (プレビューを含める)] レポートを選択します。

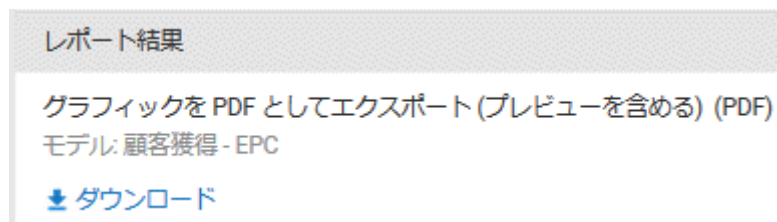


5. [開始] をクリックします。レポートが実行され、[出力オプションの選択] ダイアログ ボックスが表示されます。

6. 出力を設定します。たとえば、余白にあるオブジェクトを切り取る、出力モデル サイズを 80% にするなど指定できます。
7. [OK] をクリックします。
8. PDF ファイルが作成されます。[レポート] バーに、レポートの実行一覧が表示されます。結果ダイアログ ボックスが開き、PDF ファイルをダウンロードできます。

9. [結果のダウンロード] をクリックします。ブラウザの設定により、PDF ファイルが [ダウンロード] フォルダーに保存されるか、ユーザーが PDF ファイルを保存するフォルダーを選択できます。PDF ファイルがダウンロードされます。

10. PDF ファイルをすぐにダウンロードしない場合は、結果ダイアログ ボックスを閉じて、あとで [レポート] バーから PDF ファイルをダウンロードできます。



モデルの PDF ファイルが作成されました。

7 法的情報

7.1 ドキュメンテーションの範囲

提供されている情報では、印刷が行われた時点における設定および機能について説明しています。ドキュメンテーションとソフトウェアの生産サイクルが異なるため、設定や機能に関する説明が、実際の設定や機能と異なることがあります。相違に関する情報は製品に付属しているリリース ノートに記載されています。リリース ノートをお読みになり、記載されている情報を考慮して製品をインストール、設定、および使用してください。

Software AG によって提供されるコンサルティング サービスを利用せずにシステムの技術的機能と業務機能をインストールする場合は、インストールするシステム、その目的、対象システム、さまざまな依存性などに関して広範な知識が必要です。プラットフォームの数が多く、ハードウェアとソフトウェアの設定が相互に依存するので、特定のインストール シナリオしか説明できません。すべての設定と依存性を記述することはできません。

各種の技術を組み合わせる場合は、製造元の指示（特にインターネット ページに公開されたリリースに関するお知らせ）に従ってください。承認されているサードパーティ システムが正しく機能すること、および正しくインストールされることの保証はいたしかねます。また、サードパーティ システムはサポートしていません。必ず、該当の製造元のインストール マニュアルに記載されている手順に従ってください。問題がある場合は、製造元にお問い合わせください。

サードパーティ システムのインストールにサポートが必要な場合は、最寄りの Software AG の販売部門にお問い合わせください。このような製造元またはお客様固有の変更は、Software AG の標準ソフトウェア保守契約の対象ではありません。このような変更は、それを特別に要請し、同意した場合にのみ実行できます。

説明の中で特定の ARIS 製品を参照している場合、製品には名前が付けられています。それ以外の場合、ARIS 製品の名前は次のように使用されます。

名前	対象
ARIS 製品	Software AG 標準ソフトウェアの使用許諾契約が適用されるすべての製品を指します。
ARIS Client	ARIS Server を使用して共有データベースにアクセスするすべてのプログラムを指します。
ARIS ダウンロード クライアント	ブラウザを使用してアクセスできる ARIS Client を指します。

7.2 データ保護

Software AG の製品は、個人データの処理に関して EU 一般データ保護規則 (General Data Protection Regulation; GDPR) に準拠した機能を提供しています。

該当する場合は、対応する管理文書に適切な手順が記録されます。

7.3 制限事項

ARIS 製品は個人による使用を目的として開発されています。内容の生成や、インターフェイスを使用したオブジェクト/成果物のインポートなどの自動化プロセスによって、データ量が膨大になり、その実行が処理能力や物理的な限界を超える可能性があります。たとえば、モデルや図がモデリング領域のサイズを超えたり、極端に多数の操作処理が同時に開始されたりした場合には処理能力を超える可能性があります。使用可能なメモリが操作の実行やデータの格納に対して不十分な場合には、物理的な限界を超える可能性があります。

ARIS 製品を適切に操作するには、信頼性があり、高速なネットワーク接続を利用できることが必要です。応答時間が不十分なネットワークでは、システムのパフォーマンスが下がり、タイムアウトを引き起こす可能性があります。

製品に ARIS 文書格納が含まれる場合、次が適用されます：

ARIS 文書格納 は、40,000 の成果物を使用してテストが実施されました。これには、文書、文書バージョン、フォルダーが含まれます。保管される成果物の数と合計サイズを監視して、必要に応じて成果物の一部をアーカイブすることをお勧めします。

ARIS 製品が仮想環境で使用されている場合は、オーバーブッキングのリスクを回避するために十分なリソースが利用できることが必要になります。

システムは、10 万のグループ (フォルダー)、10 万人のユーザー、および 100 万のモデル作成の成果物を含むシナリオを使用してテストされました。システムは、25 平方メートルのモデル領域をサポートします。

プロジェクトまたはリポジトリが許容される最大サイズよりも大きい場合には、小さく分割して管理を容易にするための強力な機能が用意されています。

プロセス管理、ARIS 管理、ARIS 文書格納、ARIS プロセス ボード、実行可能プロセスの生成の使用に関しては、制限がある場合があります。Process Governance は、1000 の並列プロセス インスタンスに対してテストされ、認証されています。ただし、プロセスの複雑性 (カスタム レポートが統合されているかなど) に従ってこの数は変化することがあります。